【家庭数配付】

令和２年度
（2020 年度）
学校教育アンケート
～集計結果とまとめ～

令和３年１月吉日
（２０２１年）

保護者の皆様

吹田市立片山小学校
校　長　生駒　靖子

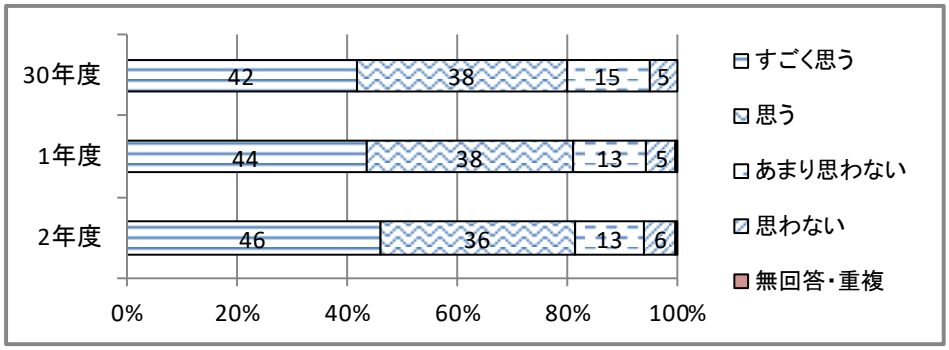
立春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素より本校教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
さて、「学校教育アンケート」の回収率は 97.1%となり、多くのご家庭のご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。
集計結果につきましては、今年度の本校教育活動の成果と課題を検証する資料として活用いたします。
今後とも、「子どもたちにとって」を軸に据え、学校と保護者が手を携えてよりよい教育環境の充実を図ってまいりたいと考えます。引き続き、相変わらぬご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。
なお、本集計結果は、学校ホームページにおいてもご覧いただけます。

児童向けアンケート（択一式の部分）　数値は%

1. 学校へ行くのが楽しい。

	30年度	1年度	2年度
すごく思う	42	44	46
思う	38	38	36
あまり思わない	15	13	13
思わない	5	5	6
無回答・重複	0	0	0

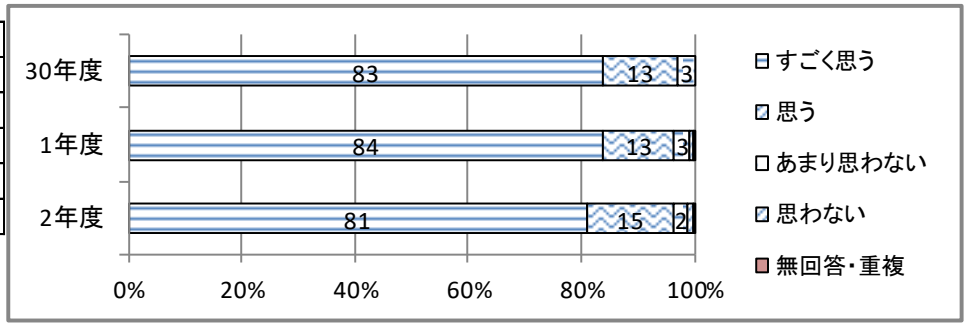
.



本質問内容は子どもたちの学校生活の満足度を知る大切なバロメーターです。否定的回答は19%で引き続き、総合的な取組とともに、個へのアプローチが必要です。「すごく思う」との回答は46%で増加傾向にあります。今年度は春に臨時休校があり、改めて学校生活の大切さについても考える機会になったかと思います。

2. 学校には、なかのよい友だちがいる。

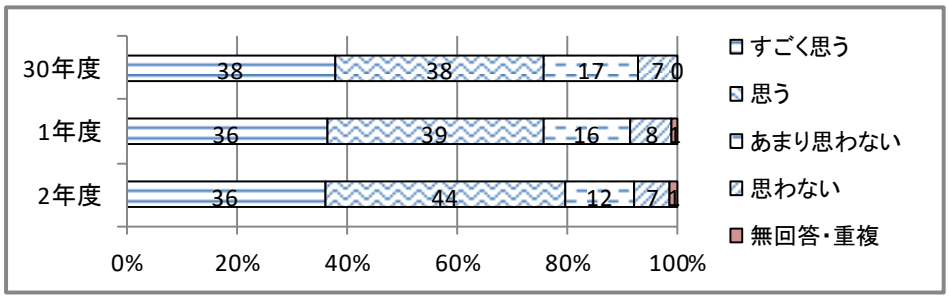
	30年度	1年度	2年度
すごく思う	83	84	81
思う	13	13	15
あまり思わない	3	3	2
思わない	0	1	1
無回答・重複	0	0	0



肯定的回答は例年なみで96%でした。互いに切磋琢磨し、困ったときには助け合える、ときにはけんかをしても気持ちを言葉に出して伝え、折り合いをつけることができる、そんな力もともに身につけていってほしいです。困ったときにはぜひ近くの先生に相談してみてください。

3. 学校の授業は、楽しい。（学校のべんきょうは、たのしい。）

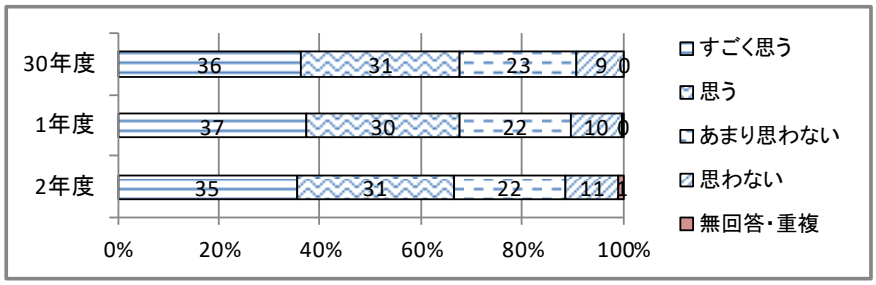
	30年度	1年度	2年度
すごく思う	38	36	36
思う	38	39	44
あまり思わない	17	16	12
思わない	7	8	7
無回答・重複	0	1	1



肯定的回答は昨年度より5%増え、80%になりました。長期休業中の短縮授業や7時間授業で臨時休業中の授業補填を行っていますが、授業を前向きに捉えているようです。毎日の授業が楽しく、わかりやすい授業をめざして、さらに授業力向上に努めてまいります。

4. 授業中、自分の考えを発表することがある。(じゅぎょう中、手をあげてはっぴょうしている。)

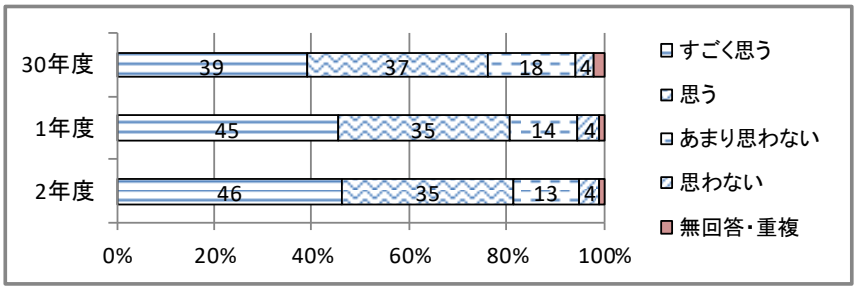
	30年度	1年度	2年度
すごく思う	36	37	35
思う	31	30	31
あまり思わない	23	22	22
思わない	9	10	11
無回答・重複	0	0	1



例年児童の2/3は肯定的、1/3は否定的回答となっています。まずは授業に積極的に参画し、自分の考えを持つこと、発表などの手立てにより、意見を共有すること、そのことにより、自分の考えを深めること、といった新学習指導要領がめざす、”主体的・対話的で深い学び”を意識した授業づくりを進めていきます。

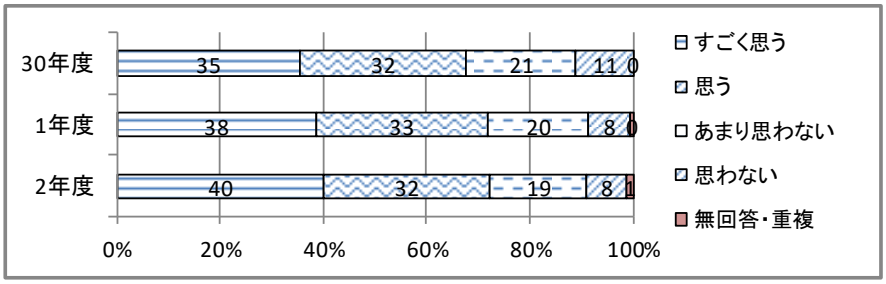
5. 先生は、わたしたちの話を聞いてくれる。(先生とは、よくお話をする。)

	30年度	1年度	2年度
すごく思う	39	45	46
思う	37	35	35
あまり思わない	18	14	13
思わない	4	4	4
無回答・重複	2	1	1



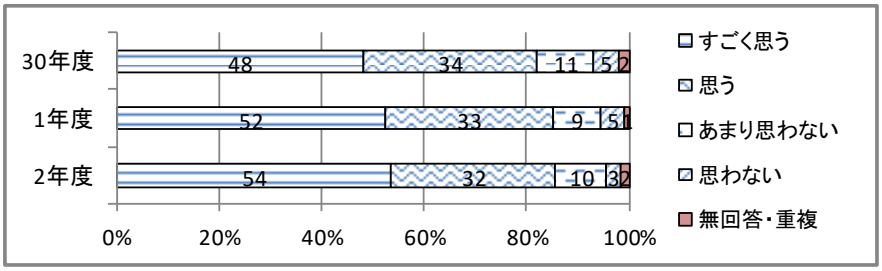
6. 授業でわからないことは、先生にきくことができる。(べんきょうでわからないことがあれば、先生にきける。)

	30年度	1年度	2年度
すごく思う	35	38	40
思う	32	33	32
あまり思わない	21	20	19
思わない	11	8	8
無回答・重複	0	0	1



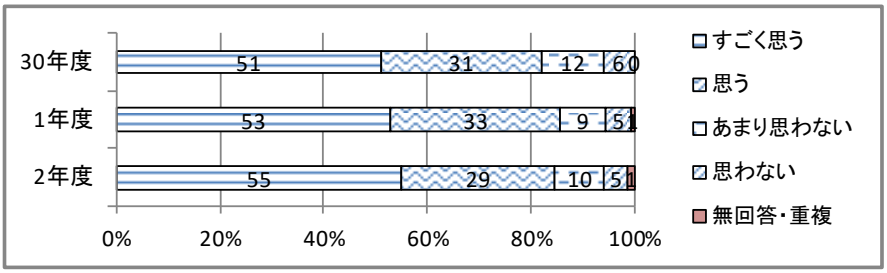
7. 先生は、自分の努力したことを認めてくれる。(先生は、がんばったことをほめてくれる。)

	30年度	1年度	2年度
すごく思う	48	52	54
思う	34	33	32
あまり思わない	11	9	10
思わない	5	5	3
無回答・重複	2	1	2



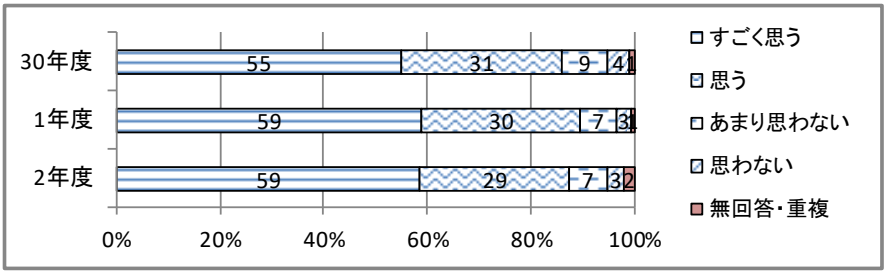
8. 担任の先生は、困ったときに相談にのってくれる。(たんにんの先生は、お話がしやすい。)

	30年度	1年度	2年度
すごく思う	51	53	55
思う	31	33	29
あまり思わない	12	9	10
思わない	6	5	5
無回答・重複	0	1	1



9. 先生はいじめや困ったことがあったときに対応してくれる。(先生はいじめやこまったことがあったらたすけてくれる。)

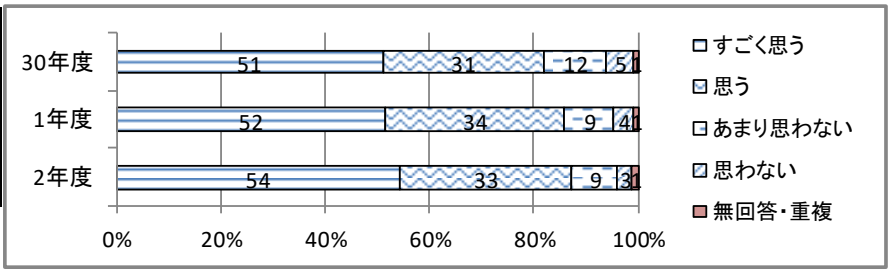
	30年度	1年度	2年度
すごく思う	55	59	59
思う	31	30	29
あまり思わない	9	7	7
思わない	4	3	3
無回答・重複	1	1	2



昨年度とほぼ同様で、肯定的回答は88%となっています。今年度は本市取組として、全学級にていじめ予防授業を実施し、いじめへの対処「やめて・はなれる・助けを求める」を学びました。特に、シンキングエラーがあったり、パワーバランスが働く場合には大人の介入が必要です。いじめが小さな芽のうちによりよい解決に向け、ご家庭とともに手を携えて導いていけたらと強く願う次第です。

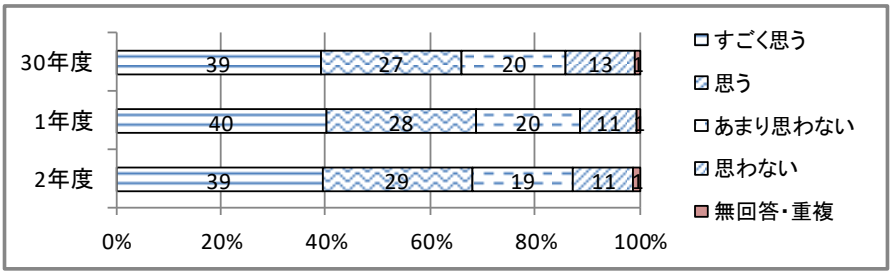
10. 先生は、きまりや約束事を守ってくれる。(先生は、やくそくしたことを守ってくれる。)

	30年度	1年度	2年度
すごく思う	51	52	54
思う	31	34	33
あまり思わない	12	9	9
思わない	5	4	3
無回答・重複	1	1	1



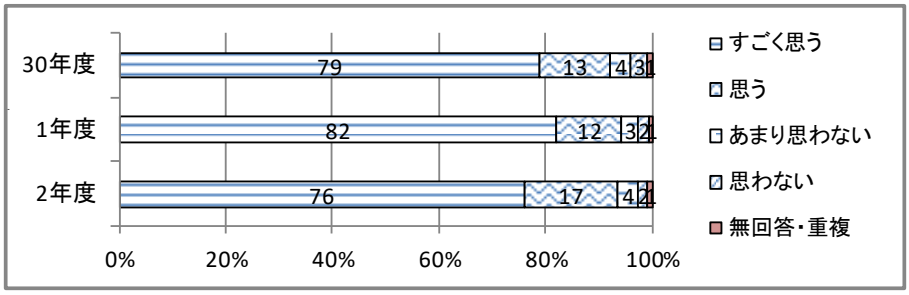
11. 担任の先生のほかに、気軽に相談できる先生がいる。(たんにんの先生のほかに、お話ができる先生がいる。)

	30年度	1年度	2年度
すごく思う	39	40	39
思う	27	28	29
あまり思わない	20	20	19
思わない	13	11	11
無回答・重複	1	1	1



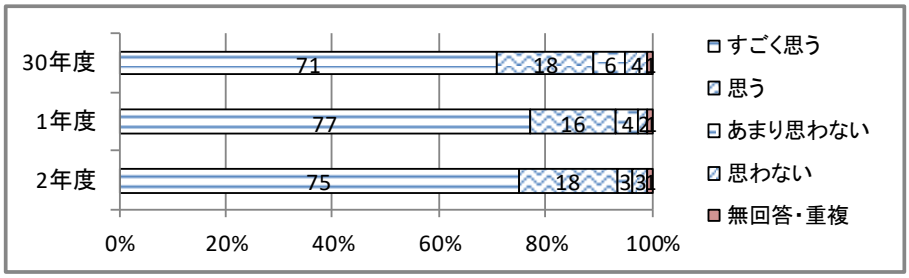
12. **体育参観の取り組みや校外学習などの学校行事は楽しい。**
（体いくさんかんのとり組みやえんそくは、たのしい。）
＊H30、R1　運動会や校外学習などの学校行事は楽しい。（運動会やえんそくは、たのしい。）

	30年度	1年度	2年度
すごく思う	79	82	76
思う	13	12	17
あまり思わない	4	3	4
思わない	3	2	2
無回答・重複	1	1	1



13. 児童会の活動やクラブ活動は楽しい。（あそび時間は、たのしい。）

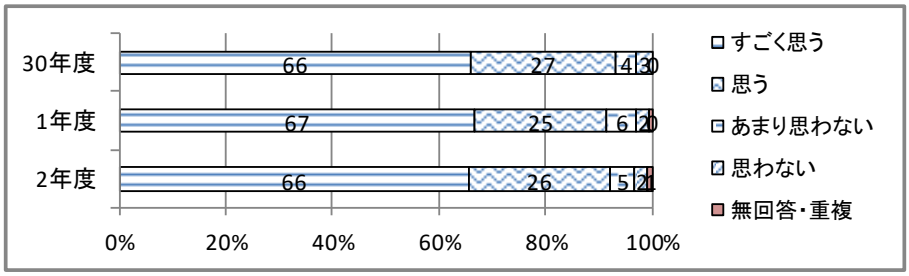
	30年度	1年度	2年度
すごく思う	71	77	75
思う	18	16	18
あまり思わない	6	4	3
思わない	4	2	3
無回答・重複	1	1	1



今年度はコロナ禍の中、例年どおりの学校行事や児童会活動、クラブ活動が難しく、2学期になり、状況が許せる限りの内容での実施となりましたが、肯定的回答は93%と昨年度と同様になっています。子どもたちが大変楽しみにしてくれていることが表れています。今後とも新しい生活様式に照らし、工夫を凝らしながら期待に応えたいと考えます。

14. 学校で、地震や火事、不審者が来た時などに、自分の安全を守るための方法を教えてくれる。

	30年度	1年度	2年度
すごく思う	66	67	66
思う	27	25	26
あまり思わない	4	6	5
思わない	3	2	2
無回答・重複	0	0	1

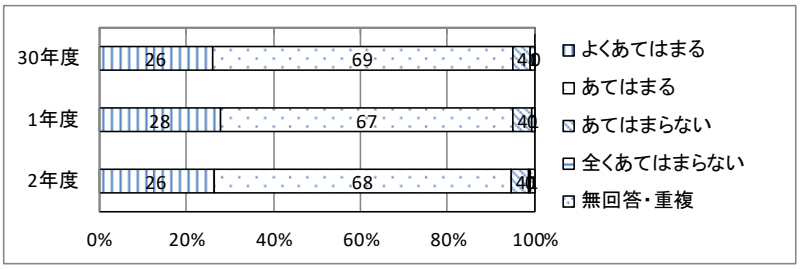


今年度は全員が運動場に集合する避難訓練はせず、学級ごとに教室内での身の安全確保や運動場への避難経路の確認を行いました。非常時にはご家庭からのお迎えによる引き渡しも必要になります。日頃から学校からのメール配信や電話の着信に留意いただき、可能な限り迅速に対応いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

保護者向けアンケート （択一式の部分） 数値は%

1. 学校だよりや学年だよりなどで、学校の教育方針や、どのような子どもを育てようとしているのかがわかる

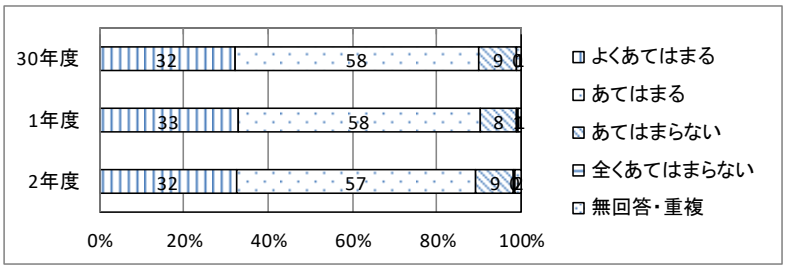
	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	26	28	26
あてはまる	69	67	68
あてはまらない	4	4	4
全くあてはまらない	1	0	0
無回答・重複	0	1	1



H30（95%）→R1（95%）→R2（94%） ＊「よくあてはまる」+「あてはまる」の合計（肯定的回答の割合）の経年比較
今後とも学校だより、学年だより、学校ホームページ等を通じて教育方針をはじめ、学校や子どもたちの様子をよりタイムリーにお伝えしていきます。特に日々の様子は”こうちょう日記”（ブログ）で授業日には更新していますので、是非ご覧置きください。

2. 学校生活についてのわからないことを、担任をはじめ教職員にききやすい

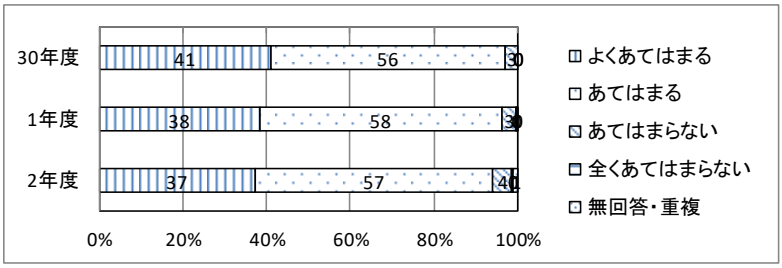
	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	32	33	32
あてはまる	58	58	57
あてはまらない	9	8	9
全くあてはまらない	0	1	0
無回答・重複	1	1	2



90%→91%→89%
今後とも学校生活についてわからないことや疑問等がありましたら、遠慮なく、いつでもお問い合わせ下さい。今年度は接触回避のため、例年のように家庭訪問や学級懇談会が実施できませんでした。面談等の必要がございましたら個別に対応いたしますので、担任までお申し出ください。

3. 学校行事や予定について、プリントなどでわかりやすく伝えられている

	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	41	38	37
あてはまる	56	58	57
あてはまらない	3	3	4
全くあてはまらない	0	0	0
無回答・重複	0	0	1

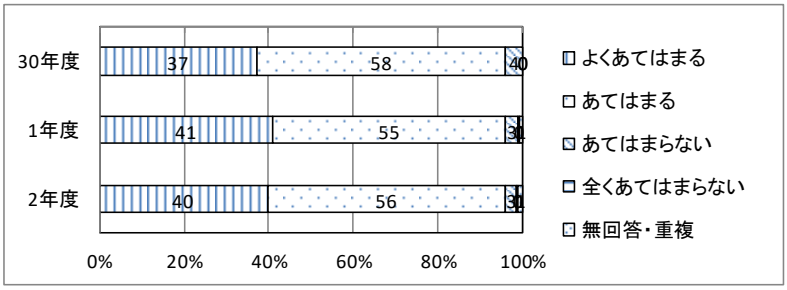


97%→96%→94%
今年度は臨時休業からスタートし、年間の見通しがつかないことが多く、ご不便をおかけいたしました。また、ツイタもんでの周知も合わせまして、臨時の対応に適切にご対応いただきましたこと、深く感謝申し上げます。
年間行事予定は学校HPに掲載し、年度途中に更新を重ねています。今後ともわかりやすい発信に努めるとともに、変更等がある場合は可能な限り迅速にお知らせしていきます。

4. 保護者が授業参観をする機会を可能な形で設けている

＊H30、R1 保護者が授業参観をする機会をよく設けている

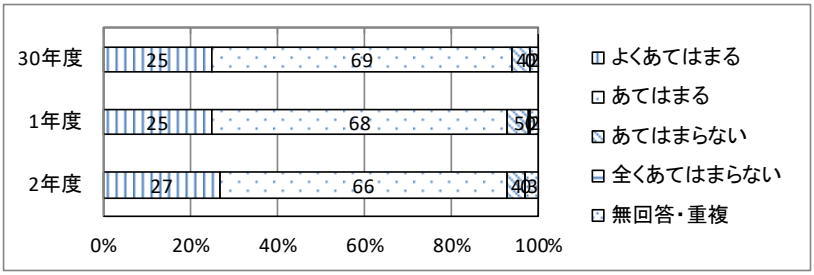
	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	37	41	40
あてはまる	58	55	56
あてはまらない	4	3	3
全くあてはまらない	0	0	0
無回答・重複	0	1	1



95%→96%→96%
肯定的回答をたくさんいただき感謝申し上げます。今年度は1学期に参観の機会が持てず、ご不安もあったことと思いいます。2，3学期には分散授業参観としましたが、出席番号制で選択できず、申し訳ございません。今後とも可能な形で工夫しながら進めてまいりたいと考えます。

5. 授業規律や社会のルールを守る態度を育てようとしている

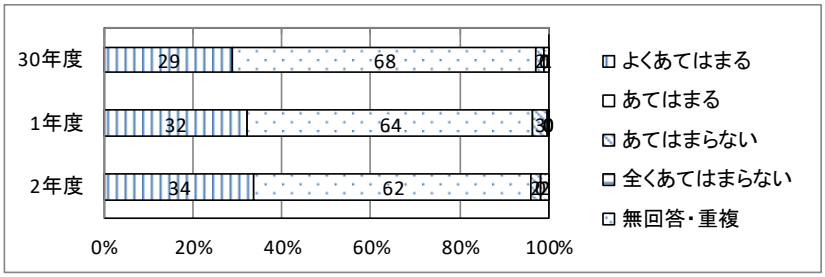
	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	25	25	27
あてはまる	69	68	66
あてはまらない	4	5	4
全くあてはまらない	0	0	0
無回答・重複	2	2	3



93%→93%→93%
学校教育において、子どもたちに社会性を育んでいくことは、非常に重要なことと考えます。授業規律の徹底は授業づくりの基盤でもあります。今後も学校教育活動全般を通して、社会のルールを守る態度の育成を図ってまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。

6. 子どもたちに基礎的基本的な学力を身につけさせようとしている

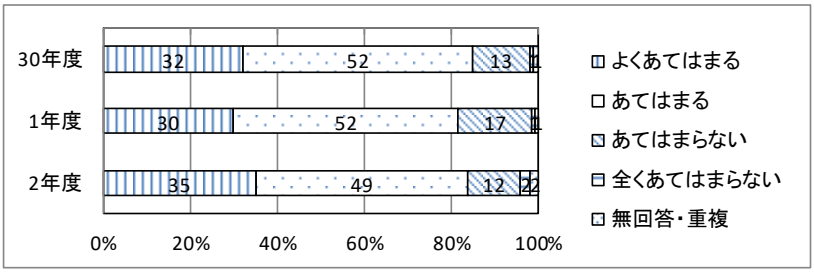
	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	29	32	34
あてはまる	68	64	62
あてはまらない	2	3	2
全くあてはまらない	0	0	0
無回答・重複	1	0	2



97%→96%→96%
学校全体として、基礎的基本的学力については、ペーパーテストで測れる力だけでなく、自己表現力やコミュニケーション力といった見えない力についてもこれからの時代を生き抜く力として必要とされています。小学生の間に、前向きに取り組む姿勢や態度を培い、基礎的基本的学力の定着に向け、指導の充実を図ってまいります。

7. 子どもは、学校での勉強を楽しいと言っている

	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	32	30	35
あてはまる	52	52	49
あてはまらない	13	17	12
全くあてはまらない	1	1	2
無回答・重複	1	1	2

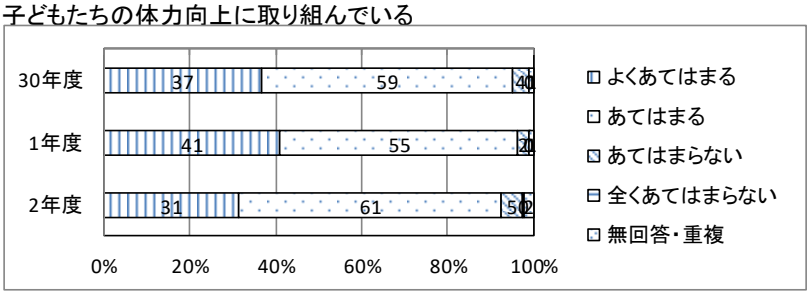


84%→82%→84%
今年度は春の臨時休業があり、子どもたちも学校で学ぶことの意味について考える機会にもなったかと思います。
例年に変わらず肯定的回答が84%となっています。新学習指導要領では”他者との対話、自己との対話”による学びが重視されています。学校ならではの学びの充実に向け、今後とも「楽しい授業」「わかる授業」をめざして、授業改善に取り組んでまいります。

8. 体育参観やクラブ活動など、子どもたちの体力向上に取り組んでいる。

＊H30、R1　夏のプールや冬のマラソンなど、子どもたちの体力向上に取り組んでいる

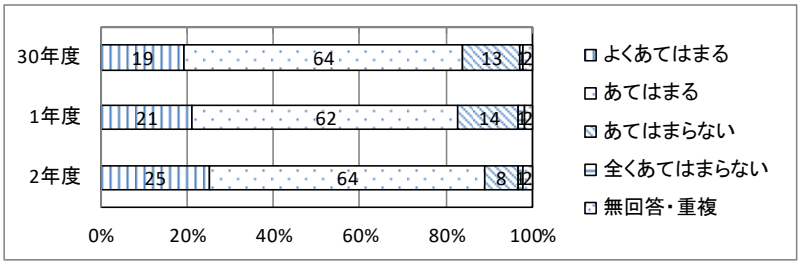
	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	37	41	31
あてはまる	59	55	61
あてはまらない	4	2	5
全くあてはまらない	0	0	0
無回答・重複	1	1	2



98%→96%→96%
毎年90%を超える肯定的な回答をいただいています。今後は心と体の両面について配慮しながら、バランスのある教育を進めてまいります。

9. 通知票（あゆみ）は、学習した内容や達成度がわかりやすいように工夫されている

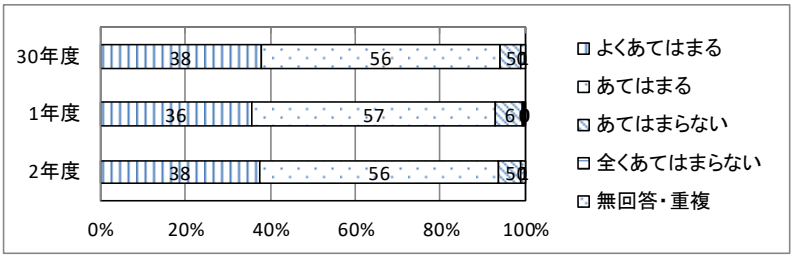
	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	19	21	25
あてはまる	64	62	64
あてはまらない	13	14	8
全くあてはまらない	1	1	1
無回答・重複	2	2	2



83%→83%→89%
今年度は新学習指導要領がスタートし、それに伴い、評価の観点も大きく3観点に変更するなど、これまでの通知票（あゆみ）から内容を一新しました。今後も評価の観点を掲載した”あゆみの見方”などにより説明責任を果たし、わかりやすい通知票（あゆみ）をめざしていきます。

10. 学校行事は、可能な形で開催できるよう工夫されている
＊H30、R1　運動会や音楽会などの学校行事は工夫されている

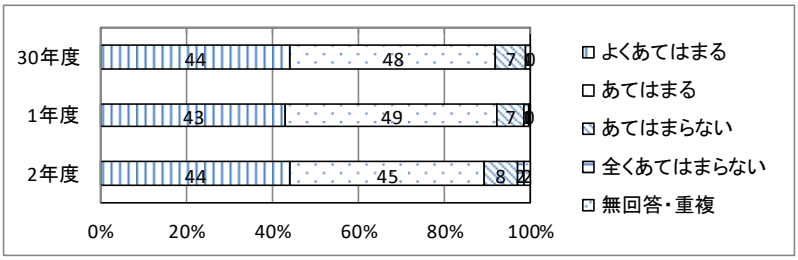
	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	38	36	38
あてはまる	56	57	56
あてはまらない	5	6	5
全くあてはまらない	0	0	0
無回答・重複	1	0	1



94%→94%→94%
今年度は春の臨時休業などコロナ禍の影響で、行事の中止や縮小化がありました。しかしながら、児童、保護者の皆様の期待も大切に考え、教職員の知恵を絞り、また、保護者の皆様のご理解、ご協力をいただきながら形を変えて実施させていただきました。今後もまだまだ不確かな状況ではありますが、学校教育を豊かなものにしていくためにも検討を重ねてまいります。

11. 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている

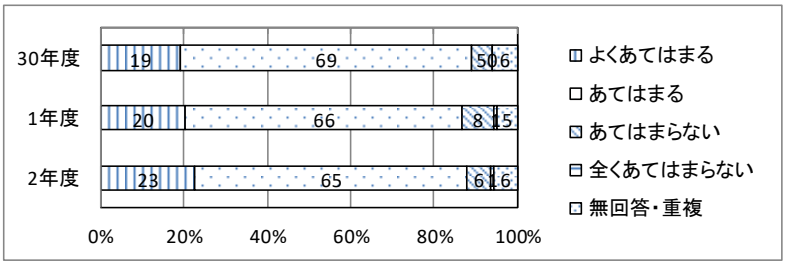
	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	44	43	44
あてはまる	48	49	45
あてはまらない	7	7	8
全くあてはまらない	1	1	2
無回答・重複	0	0	2



92%→92%→89%
若干減少が見られました。学校再開後、様々な要因で登校しぶりが増加している様子も見られます。ご家庭や関係機関とも連携を図りながら、子どもの気持ちに寄り添い、課題解決に向け、丁寧に対応していきたいと考えます。

12. 学校は、いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいる

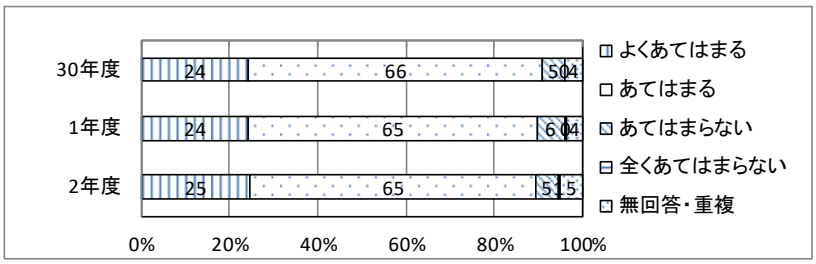
	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	19	20	23
あてはまる	69	66	65
あてはまらない	5	8	6
全くあてはまらない	0	1	1
無回答・重複	6	5	6



88%→86%→88%
いじめ防止対策推進法に基づき、本校においてもいじめ防止基本方針を作成し、いじめ予防授業の取組などにより、よりよい行動化や回避スキルについて指導し、いじめを起こさせない学校風土づくりに向け、推進しているところです。「いじめの未然防止」「早期発見」「いじめに対する対応」等により、どの児童にとっても安心・安全な学校づくりに向け、ご家庭とともに手を携え、引き続き全教職員が取り組んでまいります。

13. 学校は、子どもの間違った行動について適切に指導している

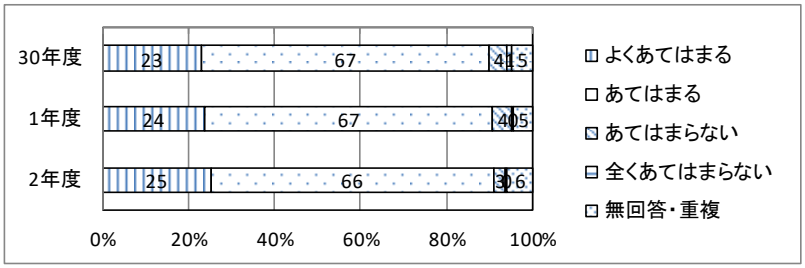
	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	24	24	25
あてはまる	66	65	65
あてはまらない	5	6	5
全くあてはまらない	0	0	1
無回答・重複	4	4	5



90%→89%→90%
成長過程において、当然ながら失敗することもあります。悪かった行いは素直に認めて相手に謝る、何が悪かったのかを理解し、よりよい行動につなげるなど、学校では粘り強く指導を継続しています。トラブルが生じたときにはご家庭にも連絡し、協力を依頼します。一つ一つが成長の糧となりますことを教職員一同願っています。

14. 学校は、子どもたちの人権やプライバシーを守るよう配慮している

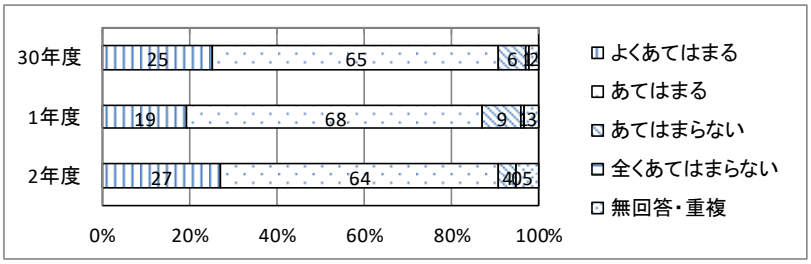
	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	23	24	25
あてはまる	67	67	66
あてはまらない	4	4	3
全くあてはまらない	1	0	0
無回答・重複	5	5	6



90%→91%→91%
お互いを尊重し合い、豊かな関係を築いていくことをめざし、研修により教職員自らが人権意識の醸成に努めるとともに、集団づくりをテーマにした授業、障がい理解教育、情報モラル教育など、児童の実態に即した人権課題も速やかに化に取り上げ、人権教育の推進に努めてまいるところです。

15. 学校は、事故の防止に配慮し、施設や設備の整備に努めている

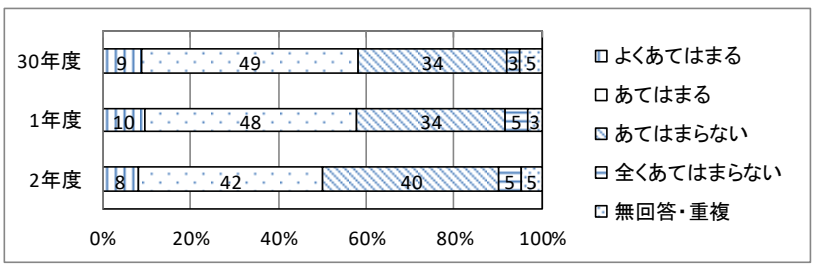
	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	25	19	27
あてはまる	65	68	64
あてはまらない	6	9	4
全くあてはまらない	1	1	0
無回答・重複	2	3	5



90%→87%→91%
学校管理下の事故においては安全配慮義務が生じます。日頃より教職員の危機管理意識の情勢として、ヒヤリ・ハットの共有化や報告・連絡・相談の励行に努めているところです。施設面では、築41年目の校舎や体育館については改修工事が終了し、老朽化が改善されたところです。次年度2学期までに全特別教室に空調設備が整います。大切に使っていきたいです。

16. 同じ中学校区（片山幼稚園、千里第一小学校、片山中学校）のようすについてもわかりやすく伝えられている

	30年度	1年度	2年度
よくあてはまる	9	10	8
あてはまる	49	48	42
あてはまらない	34	34	40
全くあてはまらない	3	5	5
無回答・重複	5	3	5



58%→58%→50%
今年度はコロナ禍のため、片山中学校区としての取組は最小限にとどまっていますが、引き続き片山幼稚園、千里第一小学校、片山中学校との連携を図り、地域一体となり、11年間の育ちを共有していきたいと考えます。

保護者からの記述内容

「学校教育アンケート」の記述部分には、121 名（H30　102 名、H31　122 名）の保護者の方からご意見をいただきました。いずれも、貴重なご意見として受けとめ、「子どもたちにとって大切なことは何か」を基軸に据え、今後の学校教育活動の改善に努めてまいります。

1　感謝の言葉　2　学校行事　3　連絡　4　学習　5　学校施設　6　その他　に分類し、主なご意見を挙げております。項目ごとに学校としての考え方を総括的に記述いたします。

1　感謝の言葉

○入学式翌日からの臨時休校があり、かなりの日数を経ての初登校。子どもだけでなく、親の方も不安がありましたが毎日楽しく学校生活を送れているようです。先生方のご尽力に感謝です。

○コロナ禍で状況が一変する日々ですが、通常の環境に近い状態で学校生活を送れていると思います。先生方のご尽力に感謝です。

○コロナ禍の中、授業参観や体育参観を様々な工夫のもとに実施してくださり本当にありがとうございました。子どもの頑張る姿を見ることができて、とても嬉しく思いました。

○分散登校は見やすくて良かったです。コロナで大変な中工夫していただきありがとうございます。

○コロナで大変な中、色々とありがとうございます。バスでの遠足とても喜んでいました。

○小学校生活最後の年がこのような状況になるとは・・・。授業時間の確保も難しい中、修学旅行や音楽参観など実現していただけたことに感謝しております。子ども達にとって一生忘れられない思い出になることと思います。また、課外クラブの活動に関しましても、朝夕練、休日練習、大会の実施とお忙しい中、ご尽力いただきまして本当にありがとうございます。先生方も体調ご自愛ください。残り少なくなりました日々を大切に過ごしたいと思います。

38 名もの方から感謝の言葉を添えていただき、教職員一同大変うれしく拝受させていただきました。例年にはこのような直接的なお言葉をいただくことは大変少ないことと思います。コロナ禍のなか、学校運営も例年通りとは行かず、一つ一つ議論を重ね、できうることを懸命に進めてまいりました。100 点満点とは行きませんでしたが、保護者の皆様のご理解とご協力、このような温かいお気持ちをいただけることで子どもたちの笑顔を紡いでいくことができました。中には教員の名をあげて激励いただく貴重なご意見もいただきました。大変な宝物です。今後のエネルギーとして、子どもたちに還元してまいりたいと考えます。

2　学校行事

○コロナの中でも体育参観を開催して頂きありがとうございました。子どもたちが頑張る姿を見て元気をもらえました。人数が多いので 10，20，30 番目に走る子にはゼッケンをつけてもらえたのでとても分かりやすかったです。最後に校庭を 1 周してもらえたのも子供と目が合ったりして喜んでいました。かけっこはもう少し近くで見たかったです。

○近所の小学校で半分ずつ（奇数学年と偶数学年）運動会を実施している学校もありました。今年度は体育館の工事もありましたので難しかったのかもしれませんが、来年度はぜひ実施の方向でご検討いただきたく存じます。

○今年度は行事が少なく、子どもの体力が落ちていると感じます。感染の心配もありますが、少しでも行事などして頂けたらと思います。校外でのイベントが殆どないこともあり、学校で友達と会ったり遊んだりするのがとても楽しい様で、これまで以上に学校でのコミュニケーションが重要になっていると思います。学校での様子は気になりますが、担任の先生は子どもをよく見て下さっていると感じているのでこの状況に即した対応をこれからもお願いいたします。

○参観する機会を設けて下さっているのはありがたいですが、10 月は３回も仕事を休まなければならず困りました。なるべく兄妹を１日にまとめる月をわける等工夫して頂いて、月１回程度にして頂けると助かります。
○コロナの影響もありましたが担任の先生との面談について１学期もあればよかった。２学期の 11 月にありました。

〈運動会・体育参観〉

運動会につきましては、今年度は体育館工事が 11 月までの予定で、残暑厳しい 8 月末からの練習として使用ができず、昨年度末から秋でなく、春開催予定にしていました。体育参観の種目としてダンスなどの団体演技の練習も運動場のみとなると熱中症の心配もありました。今回は全学年で「走の運動」としましたが、次年度につきましては感染状況と照らしながら種目や方法について検討してまいります。また、密集を回避するため、ビデオや写真撮影をご遠慮いただきました。多大なるご理解ご協力をいただきましたこと感謝申し上げます。

〈参観・懇談〉

感染症対策から 1 学期末には保護者に来校いただくことも最小限とし、入学後間もない 1 年生希望者に限定して個人懇談を実施しました。次年度も状況により未定ですが、随時連絡帳にてお申し出いただきましたら個別の対応も検討させていただきます。

2 学期当初は参観の是非について、教育委員会からの見解が定かでありませんでした。9 月に入り、対策を講じた上、実施可となったことから時期を検討しました。一方、大阪府教育庁が取組む評価育成システムである授業アンケートの締め切りが 10 月末までとされていることから、急遽 10 月に授業参観を行うことを決定したところです。例年であれば、来校いただく行事は分散することを念頭において設定していますが、今後も感染状況により、ご無理をお願いする場合もございます。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

３　連絡等

○学校行事において時間変更などあればもう少し分かりやすくメールなど配信する際に時間も再度お知らせするなど・・・していただけたら有難いと思います。
○修学旅行中「みんな元気です」等、こまめなメールを配信して頂き大変うれしかったです。安心して参加させることができました。ありがとうございました。
○ブログも学校での様子を詳しく書いて下さりいつも楽しく読ませて頂いております。
○欠席の連絡方法ですが、メールで欠席連絡を伝えられるシステム等とりいれてくれると他の子にたのまずにすむのでありがたいです。
○連絡事項をツイタモンで配信するのは良いことだと思うのでいっそ紙のお知らせから配信にしてもよいのではないか。
○連らく事項をメール or 学校サイトで通知してほしい。
○このような学校アンケートの回答は Web からできるようにしたら良いと思います。配付回収の手間がはぶけます。
○学年だより（行事予定表）遅くて予定組みにくいです。第４（月）には配付するかホームページにアップしてほしいです。
○たまにで良いのでクラスだよりを作っていただいたら、もう少しクラスの様子もわかるのになーと思います。

〈学校だより・学年だより・学校 HP・ツイタもん〉

学校だより、学年だよりは月初めに配付し、当月の行事や学習進度等をお知らせしております。月後半の職員会議を経て行事が確定します。参観等保護者の皆様に関するような大きな行事につきましては年間行事予定であらかじめ年度当初、学校 HP に掲載していますので、ご確認下さい。今年度につきましては、感染症の拡大状況により、事前周知が困難でした。今後とも不確定な部分や急な変更もございます。今春の臨時休業中にはツ

イタもんや学校 HP を介して多くの連絡を行いましたが、各ご家庭で細やかに対応下さり、スムーズな学校運営が可能となりました。心より感謝申し上げます。

学級だよりの発行や連絡帳への担任の記載につきましてはご要望として受け止めます。

学校 HP や“こうちょう日記”（ブログ）については、可能な限り更新に努め、子どもたちの学校の様子をリアルタイムで配信してまいりますので、ぜひご覧置き下さい。

〈連絡事項のデジタル化〉

昨年度に続き、多くのご要望をいただきました。欠席連絡については、現在の状況下では、学校代表メールアドレスに送信いただいた場合、確認者が 1 階から 4 階の各教室の担任に、始業までに報告に行かねばなりません。また、その日の宿題や連絡事項、配付物は紙媒体であるため、近所の友だちに持って行ってもらう必要があります。教員の働き方改革の観点からも、学校事務のデジタル化の必要性について文部科学省が議論を進めているところです。ご意見につきましては、市教育委員会へも報告し、ニーズを伝えてまいります。今しばらくは、「欠席の場合は･･･」と頼りにできるご近所のお友達へのお声かけ、関係づくりをお願いできればと考えます。

４　学習

○コロナ禍で先生方もの凄く頑張っていただいてとても感謝しています。ありがとうございます。ただ、授業がすごく早いスピードで進み、詰め込みすぎて授業についていけているのか心配になります。

○コロナ禍で学習面でも行事の面でも難しい年だったと思うのですが、夏休みの宿題では自主学習毎日の宿題は音読ばかりでもう少しいろんな工夫をして頂けたらと思いました。学習内容がきちんと定着しきれていないようで不安です。

○７時間授業をやめて下さい。長期休暇を減らして７時間をやめるべきだと思う。

○毎日の自主学習の習慣で自ら学習することを見つけて内容をまとめる力がついたと感謝しております。宿題を学校でやって良いという先生と、宿題は家でやりましょうと言う先生がいるが、それは不平等ではないか。どちらか統一するか、できれば学校で宿題をすることを認めてほしい。

○３年になって１クラスの人数が多く感じます。低学年同様少人数クラスの方が目は届きやすいと思います。特に３年生から授業内容が少し難しくなるので、３年生までは 35 名までがいいです。

授業進度については当該学年の学習内容を漏れなく履修するように、年間総時数から算出しています。臨時休業期間の補填として、夏休み・冬休みを短縮し、午前中 4 時間の授業を行うとともに、7 時間授業を 10 月以降に 25 回確保しました（文部科学省の例示により 1 コマを 40 分に短縮しています）。

いずれも臨時的な措置で、子どもたちにとって負担になっていることは十分承知しております。また、これらは本市教育委員会の方針に基づくもので学校独自で長期休業中の短縮授業を増減するものではありません。

活動内容によっては、接触や密集回避等の必要性から、例年どおりの実施が困難なものもありますが、アプローチの方法を変更して履修しており、詰め込み主義、知識偏重にならないよう、新学習指導要領の趣旨に則り、授業づくりを進めているところです。

既習事項を発展させる、興味のある学習を深める、自ら探究する等自主学習はまさに新学習指導要領のねらいにそった学びです。楽しんで自学ノートをどんどん更新していってください。

宿題については、今日学校で学んだことを、自分で振り返り、定着を図るため、“復習を習慣化させるための営み”です。個別にサポートが必要な場合は、担任が声をかけ、残って対応する場合もあります。小学生のうちに、簡単なことほどていねいにやり遂げる、毎日粘り強く継続するといった学習への構えを定着することが肝であると考えます。

1 学級の定数は現在国規準で 1 年生が 35 人、２年生以上は 40 人となっていますが、現在、大阪府の独自施策として 2 年生は 35 人となっています。12 月に文部科学省から 5 カ年計画で小学校の定数を 35 人とする、との報道があったところです。教職員も切に願っています。

5　学校施設

○トイレが汚くて行きにくいという声をちらほら聞きます。毎月「清掃費」等として保護者から少しずつ徴収し業者さんを雇うことは難しいでしょうか。
○建物の構造上どうしようもないのですが、開放廊下の必要性を全く感じない。外と同じだし上履きはドロドロ、雨水で滑るリスクや転落リスクを考えるとなぜこんな造りなのかとても疑問。
○廊下に壁がないので転落や雨の日の転倒や、コロナ禍で常に換気が必要なこともあり寒さも心配です。

トイレは本市の回収計画ですでに 2 系統（同列 1 階～4 階が 2 箇所）が改善されています。残りの 1 系統がなお古いままですが、今年度は感染症予防対策を鑑み、PTA 美化委員 57 名の方が 2 チームに分かれ、これまで月 1 回だったところを月 2 回に増やして全トイレを清掃いただいています。こういった自助努力について、教育委員会担当へ報告し業者清掃の拡充について要望しています。なお、今年度は 2, 3 学期には業者による清掃が 1 回ずつ実施されます。

開放廊下については、1970 年の大阪万博以降に本市の児童生徒数が急増し、学校の増築が一挙に必要となったことから本市では多くの小中学校でこういった設計がなされたとのことです。公共施設の長寿命化計画により校舎建替えの目安は築 80 年とされています。本校は築 41 年目で今年度、第 2 期校舎外壁改修工事、体育館改修工事を終了しました。また、次年度 2 学期までにはすべての特別教室に空調設備が整います。今後とも、綺麗に整備された施設を大切に、ていねいに使用していくことに努めてまいりたいと考えます。

6　その他

○下校中に特に低学年の児童が危険な信号の渡り方をしていたり、横断歩道のないところを渡ろうとしたり友達とふざけて帰ったりしている姿をよく見かけます。
○持ち運びする荷物の量を減らすように努めていただきたいです。明らかに使わない教科書は置き勉させて下さい。電子教科書の活用も視野にいれて適切な荷物の量を再考頂きたいです。
○子の発達や思春期（性教育を含む）について、保護者が学ぶ機会や情報の提供があると有難い。
いじめ防止プログラム講師の子どもの発達科学研究所の取り組みを保護者の立場でももっと学校と各家庭が連携できる環境ができると理想的だと考えます。
○現在３年生からのサッカー（課外）は小１からあればいいと思いました。
○コロナによる休校明け当初に比べて、子ども達の感染予防に対する意識が低下しているようです。参観時に見たところ、マスクをおろしてしゃべっている子や休み時間にマスクをしていない子もいました。給食中もたくさんの子がしゃべっているそうです。季節柄、他の感染症も流行期に入るので先生の方から注意していただけたらと思います。

今年度も地域の「片山見まもり隊（登録約 90 名）」および PTA の皆様により登下校時の安全確保にご協力いただいています。担任からも安全指導については学級で呼びかけ、引き続き啓発に努めてまいります。ご家庭におきましても、危険回避について十分お話いただき、ご協力ください。

副読本や教科書については各学年の使用頻度により教室保管を行っているものもあります。リュックサックの使用も可能です。

心と身体に関する学習やいじめの問題等、ご家庭との連携や協力が一層必要となる場面もあります。

授業への参画等、共有化から検討してまいりたいと考えます。

課外クラブの顧問は任意であり、本校は大規模校であることから現在は 3 年生からの入部としています。ご了承下さい。

感染症予防対策については、「コロナ慣れ」することなく、正しく恐れて、正しく対応していくことが肝要です。多くの児童が適切な行動を継続しています。気を許しがちな児童については、粘り強く指導を重ねてまいります。ご家庭におかれましては、引き続き感染症予防にご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。